

## ちょうふ市民討議会 2012 第2回実行委員会議事録

日時 2012年5月8日(火) 19:30より  
場所 調布市市民センター あくろす 2階会議室1

出席者 【実行委員】(敬称略)

阿部正幸(×) 榎本陽介(×) K. O(▲) 梶原良介(○) A. K(▲)  
小峯充史(○) 小山晃一郎(×) 齋藤孝(○) 竹内一(×) 竹中富知男(×)  
谷口淳(○) 長谷川正(▲) 原島秀一(○) 平松明(×) 廣瀬豊(×)  
増田健治(○) 宮澤学(×) 若松正晴(○) 和田勝幸(▲) 安藤貴弘(○)

出席8名、遅刻・途中退出4名、欠席8名 計20名

出席者 【特別出席者・傍聴者】

調布市行政経営部政策企画課 課長 今井隆司様

調布市行政経営部 参事 宇津木光次郎様

公益社団法人調布青年会議所 理事長 三ツ木秀章様

【配布資料】 議事次第、調布市基本構想説明資料、調布市事務事業側面評価資料、  
テーマ選定シート、組織図

【事前配信資料】 スケジュール、特徴と手法について(前回配布資料を持参ください)  
基本構想素案、基本構想市民説明会資料

1. 実行委員長挨拶 原島実行委員長
2. 出席者確認・特別出席者・傍聴者の紹介  
・上記の通り
3. 資料の確認・書記任命 書記：増田運営副専務

#### 4. 議題：

##### ① 前回議事の確認

- ・メーリングリスト上で回覧された議事録の通り

##### ② 組織図について

前回実行委員会の通り、原島実行委員長より、谷口淳さんを副実行委員長に選任

原島) 2011 年度実行委員の田中八栄子さんより是非とも参加させて欲しいとの連絡があったので、次回実行委員会より実行委員として参加して頂きます。

##### ③ 調布市基本構想について : 調布市政策企画課 今井課長より説明

- ・説明会にて使用した資料を元に説明。
- ・現在の基本構想は 24 年度で終わるため、25 年度以降の基本構想に関して進めている。
- ・無作為抽出や一般公募、関心を寄せてメールを頂いた方等の中から 15 名の市民委員を選出し、それに庁内委員を 15 名加えて計 30 名で「市民会議」を構成し、素案作成を行なった。
- ・市民討議会のテーマ選定に関しては、「調布市基本構想素案に関する市民説明会」内 P18 の「まちづくりの基本目標」に八本の柱として掲げているものが参考になるのではないか。
- ・なんらかのタイアップが出来れば私どもとしても有り難い。

##### ④ 調布市事務事業側面評価について : 調布市担当部署より説明 宇津木参事より

※③④は、テーマ選定のための「基本構想」「事務事業側面評価」に関する勉強会です。

説明後、質疑応答で時間をとりますが、市に対する個別の質問、主旨と異なる質問などをご遠慮くださいますよう、よろしく申し上げます。

- ・当初は庁内の人材育成も含めながら、行政評価の一環として平成 18 年度より行なってきた。
- ・平成 22 年度から評価の透明性、客観性を高めるために公開の場で議論する形式になってきた。
- ・当日は説明者として管理職が必ず参加している。それは必ず予算組みに反映させるため。
- ・評価結果が反映されているか、改善が行なわれているかを 2 年間にわたって進行

管理し、昨年の評価の進行状況を市のホームページで掲載させて頂いている。

### ③④に関して質問、意見交換

小峯) テーマを選定するにあたり、基本構想・基本計画・側面評価、どこに焦点を定めるべきかアドバイスを頂けませんか。

今井) 基本構想は 6 月の議会で決定してしまうので今からは変えれない。基本計画においてもどれをテーマにするかによるが、一日の議論では情報量が足りな  
いかもしれない。

前回実行委員の方に「市民会議」の委員になって頂けたり、行政側の実感として市民意識の高まりは感じているので有意義な手法であるという認識はある。

ただそういった中、市民討議会という手法を生かしていくには、タイミングが重要になる。市がなにかアクションをおこそうとするとときに討議会をぶつけて、その一部を議論して市に渡す。このような流れが有効ではないだろうか。

谷口) 我々市民の強みは日常生活を基にする具体論。その具体論を行政が求めているときにコラボできるとうまくいくと思う。

長谷川) 今年度の市民討議会の提言書は市長に直接受け取ってもらえるのか、今年度の施策に反映してもらえるのか。

小峯) 今年度の市民討議会については、来年平成 26 年度の施策に反映してもらえるような流れで現在考えている。

### ⑤ 市民討議会の特徴について 説明： 小峯副実行委員長

- ・本日ご説明頂いたように、行政としても色々な手法を用いて市民の声を反映させようとしている。
- ・その中で市民討議会の特徴としては、完全な無作為抽出であり、普通の人の声が反映されやすい。
- ・もう一つ特徴的なものとしては、その発言に責任を持ってもらうための報酬の支払いがある。

### ⑥ テーマ選定について 説明： 原島実行委員長

- ・市民討議会のテーマについては、アイディア抽出型と課題解決型があると考えて

いるが、今年は課題解決型で進めていきたいと考えている。

- ・スケジュールにも掲げている通り、討議会を複数回行なうことを予定している。あくまでも案だが、一回目はテーマに対する理解、二回目は実際に見る等テーマの深堀、三回目はテーマにジャッジを下す、等のような流れもありうる。
- ・前回からもお伝えしてる通り、行政側の政策立案の参考にして頂くようなテーマを選定したい。
- ・そのためにも今回実行委員会の資料には一通り目を通して頂きたい。
- ・次回実行委員会までに、テーマ選定シートの「テーマ」と「選んだ理由」は埋めてきて頂きたい。

A.K) テーマ選定シートにおいて「期待される効果」とあるが、テーマに対する自分の解決案までも表現してよいのか、するべきなのか。

原島) 解決案については、あくまでも討議会当日に委ねたい。

谷口) 討議会参加者に、テーマについてのアンケート等を行なっては。

小峯) 前年度の報告書に記載があるので、テーマ選定の参考にして下さい。

梶原) 選定するテーマによっては、「期待される効果」まで書くのは難しいのでは。

原島) 「期待される効果」については、書く人に委ねます。

今井) 課題解決型であるならば、それをぶつける相手とタイミングが重要だと思います。例えば相手が市であるならば、課題に対する予算組みと体制作りを検討しなくてはいけない。関係セクションとの事前の状況共有をし、よく協議しておく必要がある。

## ⑦ スケジュールについて

直近のスケジュールの確認

### ■第3回実行委員会

日時： 5月22日(火) 19時30分～21時30分

場所： 調布市文化会館 たづくり 11階1102学習室

### ■第4回実行委員会

日時： 6月5日(火) 19時30分～21時30分

場所： 調布市文化会館 たづくり 11階1102学習室

■第5回実行委員会

日時： 6月19日（火） 19時30分～21時30分

場所： 調布市文化会館 たづくり 11階1102学習室

5. 報告事項

メーリングリスト登録の確認

- ・ A.K委員が届いてない、ML 管理者が数日以内に対処する。

6. 次回実行委員会開催日の決定

日時： 5月22日 19時30分

場所： 調布市文化会館たづくり 11階1102学習室

7. 公益社団法人調布青年会議所理事長挨拶 三ツ木理事長

8. 閉会挨拶 K.O委員